

$X^n + Y^{n+1} = Z^{n+2}$ の自然数解について

やなぎだ 柳田 五夫

§1. はじめに

フェルマーの最終予想「 $X^n + Y^n = Z^n$ という方程式は n が 2 より大きい自然数であれば、自然数解をもたない」は A. ワイルズによって証明されたが、ここでは $X^n + Y^{n+1} = Z^{n+2}$ のかわりに

$$X^n + Y^{n+1} = Z^{n+2} \dots\dots \textcircled{1}$$

について考えてみた。

$n=3$ のとき①の自然数解をコンピュータを使って求めてみると(ソフトは UBASIC を使用)

(X, Y, Z)

$$\begin{aligned} &= (2^8, 2^6, 2^5), & (1+1=2) \\ &(3 \cdot 5^5, 5^4, 2 \cdot 5^3), & (3^3+5=2^5) \\ &(2^5 \cdot 3^8, 2^4 \cdot 3^6, 2^3 \cdot 3^5), & (1+2=3) \\ &(2^4 \cdot 7^5, 2^3 \cdot 7^4, 2^3 \cdot 7^3), & (1+7=2^3) \\ &(2^7 \cdot 3^8, 2^5 \cdot 3^6, 2^4 \cdot 3^5), & (2+1=3) \\ &(2^4 \cdot 7^7, 2^3 \cdot 7^5, 2^3 \cdot 7^4), & (7+1=2^3) \\ &(2^{16} \cdot 3^5, 2^{12} \cdot 3^4, 2^{10} \cdot 3^3), & (1+3=2^2) \\ &(2^{16} \cdot 3^5 \cdot 5, 2^{12} \cdot 3^4, 2^{11} \cdot 3^3), & (5^3+3=2^7) \\ &(2 \cdot 3^{16}, 3^{12}, 3^{10}), & (2^8+1=3^2) \\ &(31^5, 31^4, 2 \cdot 31^3), & (1+31=2^5) \\ &(2^4 \cdot 3^7 \cdot 5^5, 2^3 \cdot 3^5 \cdot 5^4, 2^3 \cdot 3^4 \cdot 5^3), & (3+5=2^3) \\ &(2^{16} \cdot 3^7, 2^{12} \cdot 3^5, 2^{10} \cdot 3^4), & (3+1=2^2) \\ &(2^{28}, 2^{21}, 2^{17}), & (1+1=2) \\ &(2^4 \cdot 3^5 \cdot 5^7, 2^3 \cdot 3^4 \cdot 5^5, 2^3 \cdot 3^3 \cdot 5^4), & (5+3=2^3) \end{aligned}$$

のようになる。() 内の式は例えば、 $(3^3+5=2^5)$ は

$$(3 \cdot 5^3 + 5^4) = (2 \cdot 5^3)^5 \iff$$

$$3^3 \cdot 5^{15} + 5^{16} = 2^5 \cdot 5^{15} \iff 3^3 + 5 = 2^5$$

の _____ 下線部を書いたものである。

これらの解をみると X と Y が互いに素ではなさそうである。

【予想1】「 $n \geq 3$ で X と Y が互いに素なとき、①は自然数解をもたない。」

(どなたか証明かコンピュータで反例を見つけてください。)

因みに、 $n=2$ のとき、①は X と Y が互

いに素な自然数解

$$(X, Y, Z) = (433, 11 \cdot 13, 2 \cdot 3 \cdot 7),$$

$$(7 \cdot 11 \cdot 79, 23, 2 \cdot 3 \cdot 13) \dots \text{をもつ。}$$

ところで、 $n=3$ のとき、①は自然数解を無数にもつことを示すことができる。

そのためには $1+1=2$ 型の解が 2 組

$$(X, Y, Z) = (2^8, 2^6, 2^5), (2^{28}, 2^{21}, 2^{17})$$

見つかっているので、 $1+1=2$ 型の解が無数にあることを示せばよい。

$$1+1=2 \text{ の両辺に } 2^{3 \cdot 4k} = 2^{12k} \text{ (} k \text{ は整数, } k \geq 0 \text{)}$$

を掛けると

$$(2^{4k})^3 + (2^{3k})^4 = 2^{12k+1}$$

$12k+1$ が 5 の倍数になればよいから

$$12k+1=5l$$

とすると

$$12(k-2)=5(l-5)$$

$$k-2=5p(l-5=12p) \text{ とおくと}$$

$$(2^{4(5p+2)})^3 + (2^{3(5p+2)})^4 = (2^{12p+5})^5$$

(p は 0 以上の整数)

したがって、 $X^3 + Y^4 = Z^5$ は自然数解

$$(X, Y, Z) = (2^{4(5p+2)}, 2^{3(5p+2)}, 2^{12p+5})$$

(p は 0 以上の整数)

をもつ。

他の型の解についても同様にして自然数解を求めることができる。

§2. $n=4$ の場合

$n=4$ のとき①の自然数解をコンピュータを使って求めてみると

$$(X, Y, Z) = (2^3 \cdot 3^{10}, 2^3 \cdot 3^8, 2^2 \cdot 3^7), (1+2^3=3^2)$$

$$(2^{10} \cdot 3^8, 2^3 \cdot 3^5, 2^7 \cdot 3^4), (1+3=2^2)$$

.....

となる。

$1+2^3=3^2$ 型の解はこの両辺に

$$2^{4 \cdot 5k} \cdot 3^{4 \cdot 5l} = 2^{12k} \cdot 3^{20l} \text{ を掛ける}$$

$$(2^{3k}3^{5l})^4 + 2^{12k+3}(3^{4l})^5 = (2^{2k})^6 3^{20l+2}$$

$12k+3$ が 5 の倍数, $20l+2$ が 6 の倍数になればよいから $12k+3=5p_1$, $20l+2=6q_1$ とすると

$$12(k-1)=5(p_1-3), 10(l-2)=3(q_1-7)$$

$k-1=5p$ ($p_1-3=12p$), $l-2=3q$ ($q_1-7=10q$)
 $(p, q$ は 0 以上の整数) とおくと

$$(2^{3(5p+1)}3^{5(3q+2)})^4 + (2^{3(4p+1)}3^{4(3q+2)})^5 \\ = (2^{2(5p+1)}3^{10q+7})^6$$

したがって, $X^4 + Y^5 = Z^6$ は自然数解

$$(X, Y, Z) \\ = (2^{3(5p+1)}3^{5(3q+2)}, 2^{3(4p+1)}3^{4(3q+2)}, 2^{2(5p+1)}3^{10q+7}) \\ (p, q \text{ は } 0 \text{ 以上の整数})$$

をもつ。

§3. n が 3 以上の奇数の場合

n が 3 以上の奇数の場合, ①の自然数解は次の②型から求めることができる。

$$x^s + y^t = z^u \dots\dots(2)$$

(x, y, z は自然数, s, t, u は非負の整数)

を満たす整数 x, y, z, s, t, u に対して②の両辺に $x^{n(n+1)(n+2)k} y^{n(n+2)l} z^{n(n+1)m}$ をかけて $X^3 + Y^4 = Z^5$ の $1+1=2$ 型の解を求めたときと同じように考える。

$$x^{(n+1)(n+2)k+s} (y^{(n+2)l} z^{n(n+1)m})^{n+1} \\ + y^{n(n+2)l+t} (x^{(n+2)k} z^{nm})^{n+1} \\ = z^{n(n+1)m+u} (x^{(n+1)k} y^{nl})^{n+2}$$

で $(n+1)(n+2)k+s$ が n の倍数, $n(n+2)l+t$ が $n+1$ の倍数, $n(n+1)m+u$ が $n+2$ の倍数になるようにしたい。

$$(n+1)(n+2)k+s = np_1, \\ n(n+2)l+t = (n+1)q_1, \\ n(n+1)m+u = (n+2)r_1$$

(k, l, m は非負の整数)

とおくと

$$(n+1)(n+2)\left(k - \frac{n-1}{2}s\right) = n\left(p_1 - \frac{n^2+2n-1}{2}s\right) \\ n(n+2)(l-t) = (n+1)(q_1 - (n+1)t) \\ n(n+1)\left(m - \frac{n+1}{2}u\right) = (n+2)\left(r_1 - \frac{n^2+1}{2}u\right)$$

n と $n+1$, n と $n+2$, $n+1$ と $n+2$ は互いに素であるから

$$k - \frac{n-1}{2}s = np,$$

$$p_1 - \frac{n^2+2n-1}{2}s = (n+1)(n+2)p$$

$$l-t = (n+1)q, q_1 - (n+1)t = n(n+2)q$$

$$m - \frac{n+1}{2}u = (n+2)r,$$

$$r_1 - \frac{n^2+1}{2}u = n(n+1)r$$

とおける。ただし, p, q, r は整数で

$$np + \frac{n-1}{2}s \geq 0, (n+1)q + t \geq 0,$$

$$(n+2)r + \frac{n+1}{2}u \geq 0 \dots\dots(3)$$

を満たすものとする。

このとき,

$$(x^{(n+1)(n+2)p + \frac{n^2+2n-1}{2}s} y^{(n+1)(n+2)q + (n+2)t} \\ \times z^{(n+1)(n+2)r + \frac{(n+1)^2}{2}u})^n \\ + (x^{n(n+2)p + \frac{(n-1)(n+2)}{2}s} y^{n(n+2)q + (n+1)t} z^{n(n+2)r + \frac{n(n+1)}{2}u})^{n+1} \\ = (x^{n(n+1)p + \frac{(n+1)(n-1)}{2}s} y^{n(n+1)q + nt} z^{n(n+1)r + \frac{n^2+1}{2}u})^{n+2} \\ \dots\dots(4)$$

例えば $x=y=1, z=2, s=t=u=1$ とおくと②は $1+1=2$ となり, ④は

$$(2^{(n+1)(n+2)r + \frac{(n+1)^2}{2}})^n + (2^{n(n+2)r + \frac{n(n+1)}{2}})^{n+1} \\ = (2^{n(n+1)r + \frac{n^2+1}{2}})^{n+2} \quad (r \geq 0) \dots\dots(5)$$

となる。⑤から①は自然数解を無数にもつことがわかる。

さて, ①は自然数解を無数にもつことがわかったが, ①で例えば Z が最小となるような解は求まるだろうか。

【予想2】 「 n が 3 以上の奇数のとき, ①における自然数解のうちで Z が最小のものは

$$(X, Y, Z) = (2^{\frac{(n+1)^2}{2}}, 2^{\frac{n(n+1)}{2}}, 2^{\frac{n^2+1}{2}}) \\ \text{である。}$$

§4. n が 2 以上の偶数の場合

n が 2 以上の偶数の場合も①の自然数解は次の⑥型から求めることができる。

$$x^{2s} + y^t = z^{2u} \dots\dots(6)$$

(x, y, z, u は自然数, s, t は非負の整数)

を満たす整数 x, y, z, s, t, u に対して⑥の両辺に $x^{(n+1)(n+2)k} y^{\frac{n(n+2)}{2}l} z^{n(n+1)m}$ を掛けて n が 3 以上の奇数の場合と同様にして

$$(x^{\frac{(n+1)(n+2)p + (n+2n-1)s}{2}} y^{\frac{(n+1)(n+2)q + (n+2)t}{2}})$$

$$\begin{aligned} & \times \frac{(n+1)(n+2)}{2} r + \frac{n(n+1)}{2} u) n \\ & + (x \frac{n(n+2)}{2} p + (n-1)(n+2) s y \frac{n(n+2)}{2} q + (n+1) t z \frac{n(n+2)}{2} r + \frac{n^2}{2} u) n + 1 \\ & = (x \frac{n(n+1)}{2} p + (n-1) s y \frac{n(n+1)}{2} q + n z \frac{n(n+1)}{2} r + \frac{n^2-n+2}{2} u) n + 2 \end{aligned}$$

.....⑦

を得る。ただし、 p, q, r は整数で

$$\frac{n}{2} p + (n-1) s \geq 0, (n+1) q + 2t \geq 0,$$

$$(n+2) r + n u \geq 0 \quad \text{.....⑧}$$

を満たすものとする。

例えば $x=1, y=3, z=2, s=0, t=1, u=1$ とおくと⑧は

$$1+3=2^2 \text{ となり, ⑦は}$$

$$\begin{aligned} & (3 \frac{(n+1)(n+2)}{2} q + (n+2) 2 \frac{(n+1)(n+2)}{2} r + \frac{n(n+1)}{2}) n \\ & \quad + (3 \frac{n(n+2)}{2} q + (n+1) 2 \frac{n(n+2)}{2} r + \frac{n^2}{2}) n + 1 \\ & = (3 \frac{n(n+1)}{2} q + n 2 \frac{n(n+1)}{2} r + \frac{n^2-n+2}{2}) n + 2 \quad (q \geq 0, r \geq 0) \end{aligned}$$

.....⑨

となる。

$$3 \frac{n(n+1)}{2} q + n 2 \frac{n(n+1)}{2} r + \frac{n^2-n+2}{2} \quad (q \geq 0, r \geq 0) \text{ の最小値}$$

を $Z_{1+3=2^2}^{(n)}$ とおくと

$$Z_{1+3=2^2}^{(n)} = 3^n \cdot 2^{\frac{n^2-n+2}{2}}$$

次に $x=1, y=2, z=3, s=0, t=3, u=1$ とおくと⑧は

$$1+2^3=3^2 \text{ となり, ⑦は}$$

$$\begin{aligned} & (2 \frac{(n+1)(n+2)}{2} q + 3(n+2) 3 \frac{(n+1)(n+2)}{2} r + \frac{n(n+1)}{2}) n \\ & \quad + (2 \frac{n(n+2)}{2} q + 3(n+1) 3 \frac{n(n+2)}{2} r + \frac{n^2}{2}) n + 1 \\ & = (2 \frac{n(n+1)}{2} q + 3n 3 \frac{n(n+1)}{2} r + \frac{n^2-n+2}{2}) n + 2 \quad \text{.....⑩} \end{aligned}$$

ただし、 p, q, r は整数で $(n+1)q + 6 \geq 0, r \geq 0$ を満たすものとする。

ここで、

$$\begin{aligned} & 2 \frac{n(n+1)}{2} q + 3n 3 \frac{n(n+1)}{2} r + \frac{n^2-n+2}{2} \\ & ((n+1)q + 6 \geq 0, r \geq 0) \end{aligned}$$

の最小値を $Z_{1+3=3^2}^{(n)}$ とおくと。

$$(i) \quad n=2 \text{ のとき } q=-2, r=0 \text{ で最小値をとり}$$

$$Z_{1+3=3^2}^{(2)} = 3^2$$

(ii) $n=4$ のとき $q=-1, r=0$ で最小値をとり

$$Z_{1+3=3^2}^{(4)} = 2^2 \cdot 3^7$$

これは①における自然数解のうちで Z が最小となるものである。

(iii) $n \geq 6$ のとき $q=0, r=0$ で最小値をとり

$$Z_{1+3=3^2}^{(n)} = 2^{3n} \cdot 3^{\frac{n^2-n+2}{2}}$$

$$Z_{1+3=3^2}^{(n)} \text{ と } Z_{1+3=2^2}^{(n)} \text{ を比較すると}$$

$$Z_{1+3=3^2}^{(n)} = 8^n \cdot 3^{\frac{n^2-n+2}{2}} > 3^n \cdot 2^{\frac{n^2-n+2}{2}} = Z_{1+3=2^2}^{(n)}$$

となる。

【予想3】「 n が $n \geq 6$ を満たす偶数のとき、①に

おける自然数解のうちで Z が最小のものは

$$(X, Y, Z) = (3^{n+2}, 2^{\frac{n(n+1)}{2}}, 3^{n+1} \cdot 2^{\frac{n^2}{2}},$$

$$3^n \cdot 2^{\frac{n^2-n+2}{2}}) \text{ である。}$$

§5. おわりに

「§1. はじめに」で $n=3$ のとき、 $X^3 + Y^4 = Z^5$ の自然数解の型をみたが、 $n \geq 3$ ならば②型 (n が奇数のとき)、⑥型 (n が偶数のとき)とも x, y, z は素数または1として①の解が求まりそうであるが、どうであろうか？

($n=2$ のときは、残念ながら $7^2 + 24^2 = 5^4$ 型から求まる解 $(X, Y, Z) = (63, 36, 15)$ がある。)

以上「 $X^{f(n)} + Y^{g(n)} = Z^{h(n)}$ (f, g, h は整式で常に $f(n) \leq g(n) \leq h(n)$) を満たす自然数解の存在」について、 $f(n)=n, g(n)=n+1, h(n)=n+2$ の場合を考えたことになる。($f(n)=g(n)=h(n)=n$ の場合がフェルマーの最終予想問題)

一般の f, g, h に対して自然数解は存在するのだろうか？ ($f(n)$ と $g(n), f(n)$ と $h(n), g(n)$ と $h(n)$ が互いに素であるときは、「§3. n が3以上の奇数の場合」と同様にして自然数解が存在することを証明できる。)

(栃木県立真岡高等学校)